



年頭所感

代表幹事 島山忠昭



新天皇のご即位により元号も令和になって初めてのお正月、会員の皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、埼玉会創立 10 周年を迎え、新天皇・新元号の制定の勢いに活力をもらって年間イベントも順調に

こなしてまいりました。これは、会員の皆さま、幹事の皆さまのご理解とご努力の賜であります。年頭に当たり改めまして皆さまには心から感謝申し上げる次第です。

連日テレビを賑わしている“新型コロナウイルス”は大変脅威です。会員の皆さまにはマスク、手洗い、うがい、余計なものには触らない等を守り、平常に戻るまでの健康管理には十分ご注意くださいと思います。そして、今年も楽しい企画を考えながら活動を続けて参りましょう。

ただただ残念なのは、この埼玉会を設立当初から支え、牽引していただいた地畑健吉様、平松廣様の昨年暮れの相次ぐご逝去です。これまでの埼玉会に対するご尽力に感謝するとともに哀悼の誠を捧げ、心からご冥福をお祈り申し上げます。次第です。

「初詣」・「新年会」

菊池正美 (上尾市)

2020 年 1 月 14 日(火) 恒例の「初詣(箭弓稲荷神社)」と「新年会(安兵衛)」をセットで開催しました。

箭弓(ヤキュー)は「野球」に繋がるとして近年はプロ野球選手初め、野球関係者の「必勝祈願」で有名です。また、本殿の彫刻は日光東照宮・陽明門を彷彿とさせる？素晴らしいものでした。

参加者：「初詣」：18 人、「新年会」：16 人



旅の思い出 その(2)

坂本洋二 (川口市)

四国の JR 予土線に“半家(はげ)”という駅があります。北海道の留萌本線に“増毛”(ましけ)という駅がありました。高倉健と倍賞千恵子の映画「駅」の舞台になりましたが、数年前に廃線で無くなりました。私はこの類の文字に何故か反応します。

ある初夏、高松に出張後、翌土日に宇和島、松山への旅をしました。直行せず、遠回りをして阿波池田、高知、須崎経由、窪川で予土線に乗り換え宇和島へ。非電化・普通列車の本場のローカル線です。人家もほとんど無くのどかそのもの。そのうち四万十川が、頭を空にしてただ車窓を。ぼんやりとホームを見ると“半家(はげ)”の文字。あわてて時刻表を調べると次の駅“江川崎”まで 4.2km、次の電車は 1 時間 45 分後。思わず下車。何にもないところで、江川崎まで川の土手沿いに歩き始めました。本当にきれいな川ですね。快適なウォーキングでルンルン気分のその時、突然目の前に 50 cm くらいの蛇が口を 180 度に向け飛び跳ねてきました。驚いて土手下へ。捻挫です。江川崎駅までの歩行は苦痛そのものでした。飲み物もなく、出張姿の革靴で駅に着いたときにはすでに列車は間に合わず、さらに 2 時間待ち。宇和島での予定は全てパー。ホテルで買った湿布剤で手当し、夕食もそこそこにベッドへ。爆睡でした。

翌朝、なんと大寝坊。桃源郷と言われる宇和島観光、道後温泉の坊ちゃん湯など全て諦めてひたすら帰郷へ。私にとって人生最悪の旅でした。私、JR 全線完乗と自負していますが、実はこの 2 駅間だけ欠けています。

半年後、冬の増毛への旅を。おいしい魚など、それはそれは思い出深い良い旅となりました。やっぱり半家(はげ)より増毛(ましけ)の方がいいです。

しかし、その後、増毛効果は全くありません。(笑)

埼玉会イベント案内

イベント幹事 菊池正美

令和 2 年度のイベント予定は次のとおりです。イベントごとに詳細なご案内をいたします。「参加」希望者は次ページ巻末の事務局まで ① e-mail、又は② FAX でお申込下さい。

- 2020.04.03(金) 第 49 回 元荒川の桜堤「観桜会」
- 2020.05.28(木) 「第 9 回 埼玉会総会」& 「講演会」
- 2020.06.08(月) 第 50 回 日光街道・粕壁宿
- 2020.07.13(月) 第 51 回 お茶の博物館
- 2020.08.11(火) 納涼の会
- 2020.09.18(金) 第 52 回「武蔵の小京都・小川町」巡り
- 2020.11.18(水) 第 53 回 (秩父シリーズ No.9) 23 番「音楽堂」、24 番「宝仙寺」
- 2021.01.08(金) 「初詣」大宮氷川神社、「新年会」
- 2021.02.17(水) 第 54 回 (株)明治、三島食品工場見学

花言葉

万作の花



ペンネーム「堰」

梅の花をめでた、万葉の和歌ら「令和」の元号が誕生しましたが、まだ寒い春に梅の花に先駆けてまず咲く花として、この花をだんだんと”まんさく”と呼ぶようになった。

また、花がたくさんつくので豊年満作から命名されたとも言われる。

米でも人気があり、「魔女の榛（はしばみ）」という名もついている。

花言葉は「幸福の再来」です。

「おほかたの枯葉は枝に残りつつ今日まんさくの花ひとつ咲く」上皇后美智子様の作を見つけました。

いつか、イベント秩父シリーズで山深い場所へ探しに行ってみたい。

方針の変更

三木周一（さいたま市）

70歳を過ぎ極端に飛距離が落ち、距離を求めて更に迷路に入り込んでおりましたが、今回のコンペに当たり、HC17を生かすために、全てのホールで無理をせずボギーオンを目指すことにしました。結果はグロス90 ネット73で方針通りに回ることができ、幸いにも優勝することができました。こう書くと全てのホールをボギーであがったと思われるのですが、実態はトリプル1ダボ5ボギー6の19オーバー、短いショートでのバーディ1パー5でグロス90。正に結果オーライでしたが、私的には前半1個であった1パットのパーが、慣れた後半には3個に増えたので、アプローチを磨き、今後もこの方針で頑張ろうと思っています。



<2019.11.25(月)>

畏友 地畑健吉氏・平松廣氏を偲ぶ

高橋 淳（坂戸市）

令和元年暮れ坂戸会はもとより埼玉会にとって激震が起きました。11月29日地畑さん、12月30日に平松さんが彼の世に旅立たれました。

地畑さんは、その持つ優れた企画力・指導力・行動力を十分に発揮され、埼玉会のイベント事業を軌道に乗せて戴きました。また5月の総会の席上全会員に配布した埼玉会の十年史「わたちの軌跡」発行に際して、プロ顔負けのパソコン技術を駆使して編集に当たられ、用紙の選定や印刷業者との巧みな折衝によって予算以内で製作できました。

平松さんは坂戸飲み会から発展した坂戸会の後見人として、割烹料亭「安兵衛」の協力を得て毎月の会合を持ち、会員の増強にも寄与されていました。イベントに際して浦和高校の同窓の方々と連絡され便利を図って戴いた事も多々ありました。お二人は急なご逝去で、地畑さんとは1ヶ月前の10月に、平松さんとは11月の坂戸会で歓談したのに明日はどうなるのか分らない人生かと、今は諸行無常の感に浸りながらご冥福をお祈りするばかりです。

合掌

飯能市「能仁寺拝観」・「天覧山の紅葉」

（西東京会と合同開催）

菊池正美（上尾市）

2019年11月21日(木)、当日は天候に恵まれ、風もなく歩くのにちょうど良い気候でした。

飯能駅からバス、天覧山下で下車。登山口入口より10分ほど(途中少し急な登り)で中段へ。ここで少し休憩。ここからは、左側の登山道(急な石段と崖沿いの道)と右側の登山道(緩やかな登り道)の二手に分かれて山頂を目指しました。どちらのコースも10分強ほど。山頂からは素晴らしい眺め、遥か彼方には富士山やスカイツリーも望めました。

次に訪れたのは「能仁寺」。この寺は1,500年当初に建てられた由緒ある古い寺で、この廊下から眺める庭園は、素晴らしいものでした。ただ、紅葉が少なかったのは残念でした。

ここからは、「飯能市立博物館」で絹織物や材木で栄えた歴史等を勉強。駅へと続く道を歩き、観音寺や市指定の有形文化財「店蔵絹甚」等を見ながら飯能駅へ。ここで解散。引き続き、飯能駅近く中華料理店「王記」にて19人の参加者で懇親会を実施し大いに盛り上がりました。



会員の写真紹介コーナー

No.7「落雪」

鈴木 勇（さいたま市）

近くの大宮公園、早朝の銀世界・・・朝日により落雪する瞬間をゲット。早朝カメラ持参の散歩が日課のラッキーな一瞬でした。



発行者 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

代表幹事（兼事務局） 畠山 忠昭

〒332-0031 川口市青木 1-22-17-902

TEL&FAX: 048-259-5917

e-mail: jarp_saitama@yahoo.co.jp